



NEWS LETTER

No.15
2014

男女共同参画を推進し、ダイバーシティを目指します



学長 小山清人

山形大学は、男女共同参画社会実現のために大学が担うべき役割と責任を自覚し、平成21年1月「山形大学男女共同参画推進宣言」を発表、平成22年6月には「山形大学男女共同参画基本計画」を策定して、全学をあげた男女共同参画の推進と、それを可能にするためのワークライフバランスの実現に取り組んで参りました。

平成26年4月、私が学長となり新執行体制に変わりましたが、男女共同参画は喫緊の課題であり、組織の多様性（ダイバーシティ）実現に向けた重要な要素であると認識しております。今後の6年間は、「山形大学男女共同参画基本計画」の後半期となり、平成31年度には、10ヶ年に渡る本基本計画の期間終了を迎えます。基本計画に示す目標の達成に向けて、学長自ら先頭に立って引き続き努力していく所存です。

山形大学は本学の学生及び教職員が性別にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮できるよう具体的な施策の推進に一層努力して参りますので、どうぞ今後とも皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

学長のリーダーシップと新体制のもと、ワークライフバランスを推進します



男女共同参画推進室長 阿部宏慈

平成21年1月の第1回男女共同参画シンポジウムで「山形大学男女共同参画推進宣言」が発表され、2月に男女共同参画推進室が設置されました。今年2月で5年が経過しましたが、この間、「山形ワークライフバランス・イノベーション」を掲げ、精力的に男女共同参画、女性研究者支援の基盤整備が行われてきました。今後、それを維持すると共に、女性研究者比率の向上をはじめとして残された課題やさらなる課題の解決に向けて、具体的な業務を確実に実施し推進して参ります。女性をはじめ様々な方々の声や意見を寄せていただきたく、今後ともよろしくお願いいたします。

小白川キャンパス保育所のびのびスタート

第1回入所式開催 4月1日(火)

4組の親子を迎えて、第1回入所式が行われました。阿部宏慈所長の挨拶に続いて、黒木正美主任保育士から、緑豊かな環境を活かし、のびのびとした保育で豊かな心を育てたいという挨拶がありました。

1週間の慣らし保育の後、通常の保育が始まりました。午前中は、自由遊びや散歩を含め、工夫された屋外活動が行われています。

入所児を常時受付

年度途中の異動にも対応するため、常時、入所を受け付けています。詳しくは、裏面記載の男女共同参画推進室のホームページをご覧ください。



入所式・所長挨拶(4月)



「これからお散歩に行きます」(5月)



皆でひまわりと枝豆の種まき(6月)

— 第11回男女共同参画推進委員会開催(5月9日) —

平成26年度各種支援制度スタート。

今年度から、女性研究者限定だった支援制度のほとんどが男性も利用できるようになりました。

1. 研究継続支援員制度(改正)

- 利用対象者：育児・介護期等の男女研究者
- 主な内容：研究・教育業務の補助を行う支援員の雇用支援

2. 学会参加時の保育支援制度(改正)

- 利用対象者：男女研究者(大学院生等含む)
- 主な内容：国内外の学会等へ参加するための託児経費の補助

3. 小白川キャンパス保育所のびのび(新設)

- 利用対象者：教職員・学生・ポスドク・一般
- 主な内容：0歳児からの基本保育(延長保育)・一時保育

4. 託児サポーター制度(学童一時預かり)(改正)

- 利用対象者：教職員・学生・ポスドク
- 主な内容：平日の13:00～19:00までの小学生の一時預かり

5. 巡回相談員制度

- 利用対象者：教職員・大学院生・ポスドク
- 主な内容：仕事と生活の両立に関する相談や要望の聞き取り

6. 女性研究者支援メンター制度

- 利用対象者：女性の若手研究者・新任者
- 主な内容：メンター教員による研究やワークライフバランス相談

7. ユビキタス・ワーキング・システム

- 利用対象者：育児・介護期等の教職員
- 主な内容：インターネットを通じて学外から一部アクセス可能

8. 女性研究者へのノートパソコン貸し出し

- 利用対象者：育児・介護期等の女性研究者
- 主な内容：ノートパソコン・Webカメラ貸出(1年間)

平成26年度の推進体制 平成26年4月1日現在

男女共同参画推進委員会	学長	小山 清人	理学部	大西 彰正	農学部	夏賀 元康
	理事	阿部 宏慈		井深 章子		木村 直子
	理事・副学長付きスタッフ	河野 銀子	医学部	細谷たき子	基盤教育院	渡辺絵理子
	人文学部	國方 敬司		鈴木 匡子	総務部	黒沼 毅
		赤倉 泉	工学部	兒玉 直樹	企画部	水井 義武
	地域教育文化学部	小田 隆治		八塚 京子	保健管理センター	富樫 整
河野 銀子						

協議事項

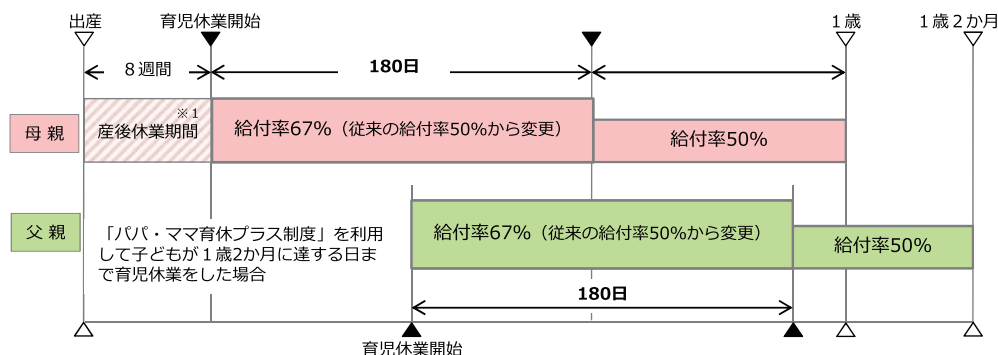
- 1 平成26年度事業計画について
- 2 男女共同参画基本計画に関する各部局の年度評価及び計画の見直しについて
- 3 山形大学女性教員比率の推移と今後の対策について
- 4 「男女共同参画に係るアンケート」の実施について
- 5 その他

全教職員・大学院生のみならずへ
男女共同参画に係るアンケートの
ご協力をお願いします。(7月実施)

育児休業給付金支給率の引き上げ

(平成26年4月1日以降に開始する育児休業から)

男女ともに育児休業を取得していくことを促進するため、雇用保険法が改正され、4月1日から育児休業給付金の支給率が引き上げとなりました。育児休業を開始してから180日目までは、休業開始前の賃金の67%、181日目からは、従来通り50%が支給されます。パパママ2人で育児休業を取得してみませんか？



平成26年度山形大学男女共同参画セミナーを開催

日本初の国際女性ジャーナリスト平松昌子氏からのメッセージ 「女性の平等、安全そして豊かな将来のために国際社会で活躍してほしい」

80歳を超える今でも国際舞台で活躍されている平松昌子氏（日本BPW連合会理事・国連NGO国内婦人委員会副委員長）を講師に迎え、「今、世界の女性は～国連女性の地位委員会から～」と題して、男女共同参画セミナーを開催しました。

今年3月14日に、ニューヨーク国連本部で開催された国連女性の地位委員会（CSW）で、日本政府国連代表部とNGO共催のサイドイベント「自然災害のリスク削減と女性のエンパワーメント」を開催し、東日本大震災からの教訓や災害のリスク削減のカギ、少女のエンパワーメントについて提言し、参加者からの強い共感が得られたということです。

また、ベトナム戦争を取材した経験から、武力紛争と自然災害の被害には共通点があり、女性の人権が無視される事例が起きやすいこと、人間としての尊厳を守ることの重要性が強調されました。

後半は、特別ゲストで、日本の女性リーダー育成に携わる厚子・東光・フィッシュ氏（フィッシュファミリー財団理事、2013年ホワイトハウス「変革のチャンピオン」賞受賞、ボストン在住）も加わっていただき、参加者とのフリートークが行われました。

ゲストのお2人から学生たちに、世界を舞台に挑戦してほしいとの熱いメッセージが述べられました。



平松昌子氏 講演



フリーディスカッション



学生との質疑応答

5月16日(金)
141人参加



介護セミナー実施「仕事と介護の両立のために知っておきたいポイント」

多くの方が迎える親の介護。できるだけ幸せな老いを過ごしてほしいと願いつつも、責任ある仕事との両立は困難です。山形県立保健医療大学の理学療法学科講師で理学療法士、社会福祉士、主任介護支援専門員でもある丹野克子氏を迎え、両立のポイントを伺いました。介護状態を受け入れることは難しく、どんな人も否定から始まり、拒絶に進むこともあるが、受容できるようになると、介護する側もされる側も安定してくるということでした。そのためには、介護者自身が閉じこもらないこと、支援とつながること、人・物・制度の介護環境を整えることなど、具体的な紹介がありました。

事前に寄せられた質問の中に、「誤嚥性肺炎の予防と食事内容について」「アルツハイマー病を進行させない運動は」「認知症で施設にいる母に会いに行く度に帰りたいと言って泣かれるがどうしたらよいか」などがあり、一つ一つ丁寧な説明がありました。



7月11日(金)
22人参加



第1回ランチミーティング開催

仕事と生活のバランス（ワークライフバランス）に関する情報交換や学部・分野・職域を超えたネットワーク作りの場となっているランチミーティングです。今年度1回目は「新任者と語るワークライフバランス」と題し、2人の方から話題提供していただきました。夫婦とも他県出身で祖父母も働いているため、子どもの体調が悪くてもすぐに祖父母に頼ることはできないことを覚悟し、日頃からどうするか2人で話し合うようにしている、という紹介がありました。育児中の研究者からは、子どもとの時間作りに苦労しているという話がありました。



6月19日(木)
19人参加



次世代育成支援対策推進法に基づく山形大学の行動計画

（平成23年4月1日～27年3月31日）の最終年度

- 目標1 育児休業の取得 男性職員…1人以上取得
女性職員…取得率80%以上
- 目標2 子の看護のための特別休暇の取得（1日又は1時間単位で取得できる）の広報に努める。
- 目標3 夏季・年末年始の計画休暇（一斉休業）の長期化、休養の推奨、効果的な年次有給休暇の取得促進。（今年度改正）

職場環境改善のチャンスとして取り組みます。

阿部 未央 先生

人文学部・准教授

お子様を連れて在外研究中の阿部先生から、現地の様子を伺いました。

◎在外研究に行かれた経緯は？

山形大学のYU海外研究グローイングアッププログラムにより、オックスフォード大学にて在外研究をする機会を得ました。2014年4月から半年間イギリスに滞在しています。夫は日本での仕事があるため一緒に行くことができませんでしたが、2人の娘たちは本人たちの希望もあり一緒に行くことにしました。

◎イギリスでの生活は怎么样了。

私は大学へ、娘たちはロンドン日本人学校に通っています。自宅は彼女たちの通学を考慮して、日本人学校から徒歩圏内のところに決めました。大学へは電車で1時間くらいです。自宅の周りには同じ年の日本人の友だちがたくさん住んでおり、学校帰りに友だち宅へしょっちゅう遊びにいらしています。お迎えがてらママたちから買い物情報を聞き、相談にのってもらいあるいは助けてもらえるので、困ったことがあってもすくに解決することができています。

◎日本と比べて怎么样了。

日本にいるときは子どもの部活や習い事が忙しいこともあり、家族ぐるみで夕食を食べに行く余裕がほと

んどなかったのですが、ロンドンでは友だち家族とご飯を食べに行くこともあります。お酒が飲めて食事ができるイギリスの「パブ」は便利です。イギリス版「居酒屋」みたいな存在でしょうか。パブはロンドンのそこかしこにあり、外で立ち話をしながらビールを軽く一杯という時も、子ども連れてゆっくりおしゃべりしながら食事をという時にも利用できます。今の時期は日が沈むのが午後10時!と遅いので、外のテラスで心地よい風にふかれながら子供たちはバーガーやカラマリを食べ、大人たちはビールを飲むことができます。たいていどのパブにもある大きなテレビスクリーンに映しだされるサッカー中継に人々は盛り上がっています(ということはイギリス版「スポーツバー」の方が正確なのかも?)。しかもこの原稿を書いている間はワールドカップの真っ最中なので、白地に赤十字の旗が目立ちます。

◎現地の方との交流はありますか。

イギリスに来たからには娘たちにも現地交流をと思い、親子で近所の教会のテニスクラブに参加しています。そこはこじんまりした地元のクラブで現在私たち以外は日本人がいらないというなか、娘は英語がほとんどわからないのですが、得意なテニスを通して楽しんで参加しているようです。先日、帰り際に娘が男の子から「手を出して」と言われて手を出したところ、チュッとキスされたそうで(残念ながら私

は目撃していないのですが)文化の違いを含めドキドキ、ニコニコしていました。

◎お子様を連れての在外研究に不安はありましたか。

渡英前は、子どもがイギリスの生活に慣れるかどうか、子どもがいることで様々な制約があるのではないかと心配していました。1人での渡英と家族との渡英は、住む場所や生活スタイル含めかなり違ったものになります。それぞれの長所・短所はありますが、特に外国という全く別の新しいコミュニティに子供たちが一緒に参加してくれることは人々の信頼を得やすくその後の会話もスムーズであるような気がします。大学関係者ではないイギリスのママたちと話をする機会が得られることも、私の労働法の研究を進めるうえでプラスです。食事をシェアできるだけでなく、家族のメンバーがそばにいてくれることは日本同様心のよりどころにもなっています。



ビッグベン



最高裁判所前にて

資生堂女性研究者サイエンスグラント3年連続受賞!

自然科学分野において指導的役割を担う女性研究者の育成を目的とした上記賞を山形大学の女性研究者が3年連続で受賞しました。



授賞式(6月13日)宮 瑾 特任助教

年度	氏名	所属(受賞当時)	研究内容
26年度	宮 瑾 特任助教	大学院理工学研究科	【高分子科学】眼内レンズへ応用可能なスマートゲル材料の開発(透明度を制御できる形状記憶ゲルの開発と眼内レンズへの応用)
25年度	帯刀 陽子 助教	大学院理工学研究科	【物性化学】動的自己活性化ナノコイルスキャホールドの創製とその機能評価(再生医療に用いる細胞を機能させるナノ材料の開発)
24年度	恩田 弥生 助教	農学部	植物細胞・エネルギー代謝の細胞内分配機構の解明(光を利用したエネルギー生産の仕組みを明らかにする)

Information

女性研究者裾野拡大セミナー(農学部)

- ◎日時: 8月3日(日)
- ◎場所: 農学部302教室
- ◎内容: 女子高校生対象の講話やフリートーク

8月3日(日)

Information

女性研究者裾野拡大セミナー(理学部)

- ◎日時: 9月1日(月)
- ◎場所: 理学部1号館
- ◎内容: 女子高校生対象の理学部各学科紹介

9月1日(月)

編集後記/ 4月から小白川キャンパス保育所の保育が始まりました。1年後、全体的な評価と改善を行います。新学長・室長のもと、男女共同参画推進委員会および推進室もスタートしました。今後とも率直なご意見等をお願い申し上げます。(2014年7月)



山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
 TEL 023-628-4937/4938/4939
 E-mail y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
 http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/